

2022年5月号
No. 99

～出会いとふれあいの場～ ハロー公民館

南街公民館だより

東大和市南街5-32 ☎ : 564-2771 発行・編集:南街公民館

公民館保育室開室

40周年

40周年を記念して保育室に関する文集を発行する予定です。編集委員・原稿募集について、P3・4をご覧ください。

地域の風 48

今回の地域の風は、市政功勞者表彰を受けた、富士見通り商栄会「ダスキン北多摩」の井上久史(いのうえひさし)さんにお話しを伺いました。

**七夕まつり

富士見通り商栄会の活動として、昔から七夕まつりと同時に中元大売出しを毎年やっているんです。主催する側からすると、子ども達に楽しんでもらうという気持ちが強いです。

コロナでお祭りが出来ない状況でしたが、今年は実施に向けて準備だけはしようと話合っています。

小学生時代の2年間は体験を濃密に積み重ねてほしいのに、何も無いのは可愛そうだと思うのです。親御さんが、人の集まる所に子どもを出すことを心配されていると思うので、配慮も必要だと思っています。

**商店街振興について

東大和市の「Pay Pay

なんがいい いい!

商栄会のキャッチフレーズ『にゃんがいい!』

の30%戻ってくる」というのは、商店街にとつては嬉しい、良い企画です。商店街は、専門性があり、じっくりお話をしながらコミュニケーションで商売をやっています。30%引きで買えるようなものなので、客足が戻り、ここにお店があったんだと知ってもらえるきっかけになります。

今年「商店街とアート」という活動が始まります。

武蔵野美術大学の学生さんに声をかけて、「あなたの作品を商店街に飾りませんか?」と、募集している段階です。6・7月ぐらいにスタート出来ると思います。商栄会のキャラクターが猫なので、猫をモチーフにした作品を考えてもらおうつもりです。

**野外劇団染市楽座

座長の長山現さんは、同級生で奥さんの佐野キリコさんと夫婦二人で全国を回っています。

美大とタッグ、劇団を支援、アートな地域づくり

す。11年前から地元でもやりたいという事で、出来る限りの協力をしようと思ひ、市役所と交渉して会場の公園を借りたり、宣伝のチラシを配布したりポスターを掲示版に貼っています。

公演場所に長く滞在できないので、チケットを前売り出来ない代わりに、お客さんにお金を投げてもらいます。これが楽しいんです。折り紙に包んで投げるので、円形の舞台に四方八方から投げられてシニールで綺麗です。今年も8月に公演があります。夏休みに親子で楽しいひと時を過ごしてみてください。



商店街に足を向けたくなる、お話しが聞けました。(小林)



NO. 21

資源物中間処理施設 エコプラザスリーハーモニー 設置・運営・管理＝小平・村山・大和衛生組合

桜が丘2丁目にあるエコプラザを見学しました。小平・村山・大和衛生組合の片山敬業務課課長補佐に案内していただきました。

小平市・武蔵村山市・東大和市の3市から排出される家庭ゴミは、公衆衛生・生活環境保全等を目的に、昭和40年から小平市中島町のゴミ焼却施設で処理してきました。ゴミは最終的には埋め立てていました。

しかし、法律も変わり、循環型社会を目指すことになり、石油から作ったペットボトル等も再生して資源としてもう一度使っていくことになりました。

平成15年に3市と組合によってリサイクル施設建設の検討が始まり、令和元年にペットボトルと容器包装プラスチック専門の中間処理施設として、稼働を始めました。

ペットボトル このマークがついている飲料、醤油、酒類用のもの



容器包装プラスチック 容器や包装用プラスチック（含むネット・ラップ）汚れの落ちたもの



ゴミをゴミとしないで、資源としてリサイクルし、ペットボトル・容器包装プラスチックを選別して、圧縮・梱包し保存します。広大な作業所でクレーン等で処理され、ほこり、臭気、音等が外に出ないように、すべて施設内で処理されます。

ペットボトルと容器包装プラスチックの二つの系列で処理します。それぞれ自動カッターで袋をやぶり、手作業で異物を取り除き、圧縮ブロックに成形して、包装します。VOC（揮発性有機化合物）除去装置に

より資源に含まれる微量の塗料、印刷インキ、シンナー等々の物質を取り除きます。

容器包装プラスチックは風で飛ばし重い軽いの選別をし、異物を取り除き、圧縮しブロック状に成形して再生工場へと運ばれ、容器、繊維、化学物質等にリサイクルされます。

ほとんどが機械化される中で、選別の部分では、他のゴミや異物が混入されている場合があり、ベルトコンベアーの上で、人の手により取り除く作業が行われていました。弁当の残飯等も混入されており、人の手による選別が欠かせません。取り除いた残飯等のゴミは小平市中島町の施設で焼却されます。

東大和市に3市の資源物処理施設ができるという建設計画を知って、地域の住民の方が、生活環境に悪影響が出ないかと心配され、長い時間をかけて、3市と組合が地域の住民の方と話しを重ね、循環型社会を目指した、環境に配慮した施設を建設しました。

私達市民には、ゴミの分別等のルールを責任をもって守っていくことが求められます。子ども達にも環境保全に関する学習施設として、小・中学生時代から、訪れる機会を作ってあげてほしいと思います。

施設では資源化の機能だけではなく、施設内の空気は綺麗にして外へ出す、防音対策等々、様々な気配りを通して、よりよい環境を次世代に残す努力がされています。

敷地内には太陽光の採光装置や雨水利用の設備もあり、天然資源の有効活用も図っています。館内は明るく清潔感が感じられ、職員の方達も緊張感をもって日々仕事をされているそうです。

容器包装プラスチックの量は、令和5年をピークと予想していましたが、コロナ禍での自宅を過ごす時間が増えたことにより、排出が想定より増加しています。

作業中、人による選別に手間がかかります。異物を混入しないよう、気をつけましょう



市民一人一人がゴミを捨てる時、分別の事を考えてもらえれば、よりお金をかけずにゴミを資源としてリサイクルができます。それを子ども達にもぜひ学習・見学して、知ってほしいと思います。（若松）

公民館保育室は 開室40周年を迎えました

保育室開室40周年記念文集を作成します。

原稿締め切り 5/31 (火)

詳細はP4 をご覧ください。



最初の中央公民館保育室開室から、今年4月で開室40周年となりました。保育室運営のために「保育室を考える会」を作り、お子さんの成長から自分たちの生活を振り返る学習に取り組み、20周年の際には、その成果を文集にまとめました。今回はその文集から、学びの一端をご紹介します。

「本当に息子は成長していると思う。…自分で学びえたすべのお陰…そして、私とはというと、どうだろう」

「人間関係やサークル活動を重荷に感じていた初めの頃の気持ちは、保育室に溶け込めずにいる子どもの気持ちと重なる…別の“育ち”を広く知り、それを柔軟に取り入れていくことが必要だと思う。それも子育て本からではなく、生の力強い友達から」

「子供は一人で育てるものではなくて、色々な人との関わりの中で、自分の本当の居場所を見出す事が出来る。親もそのことを一歩ずつ学んで行くことで、『自分一人が社会から孤立しているのではないだろうか?』という不安、疑問から脱し、本当の大人に成長できるのではないだろうか。」

「考える会は、出産・子育てをすることで、社会から離れた母親が社会人として一歩を踏み出す準備をする所」

「うつ病のチェックリスト…自分を見つめ直す、話し合いのできる夫婦を目指す、サポートし合える仲間作りなんて、考える会のテーマに重なる」

「子育てや夫婦間での『うわ～、どうしよう!』まで、考える会のメンバー同士で考え合ったり、助け合ったりできるのは、一見ピンチなようでも、実は大チャンス…今どきの母親が最も欲しているのはちょっとしたことを気軽に頼める環境…環境作りは人任せではなくて自分で開拓していかなきゃいけないのだ」

「『公民館活動』でえるものは数字では測れない…いいなりに効かない分、楽できない分、自分の選択と

責任をとるというのが『公民館活動』（『 』の中に『夫婦の関係』と入れても）」

「『夫にぶちあたっていい』という気持ちに代わりました。…いずれ、幼稚園や小学校で役員をやらなくてはならないのだからその練習になる。」

「そして何よりも公民館に来て変わったのは、私と夫の在り方です。」

「リストラで妻子を養えないから、と言って自殺する40代男性が増えている。でも夫子を養えないからと言って自殺する女性は少ない。何でだろ～何でだろう～。」

20周年を迎える直前には、「公民館のつどい」の【保育室分科会】で保育室利用者の方たちに、インタビューを行いました。取材の中からも、声をお届けします。

「先日、公民館保育室を利用するには、ぜったいになにかを勉強することが目的でないと利用できないのでしょうか、だれでもがつかえるように少しの時間でもあずけられるようになれば、もっと困っている母親の助けになるのではと言われました。…公民館保育室は託児所と違うのは、1週間に1度、同じ顔であそび、その中でかわりあいながら子供達はおたがいを認め、安心しそだちあう信頼感が保育室にはあり、託児は、いつだけ1度その時にいたメンバーで信頼感など生まれるだろうか?大人でもはじめての人達の中に一人で入ると不安といこちの悪さを感じるのではないか。」

「保育室と聞いて、最初は、飲食店保育室的な、ただただめんどうを見てくれるもの、それ以上でもないものだと思っていた。ところが預けてみると、そこはもう学習空間で、子どもたちは社会を渡って行く勉強をしていた」

「(公民館) 活動を通して、私は本当は『できない』のではなく『しない』だけで、自分で行動することから逃げていたのだということに気がつきました。子どもがいたって、主婦だって、女だって、やりたいうことはできる。母親だけが一人で泣きなきゃいけない世の中なんて間違っている。」

「自分が変わったことで、お父さんが変わって、お父さんも学校行事に参加するようになり、そんな自分(父親)の行動は『女房が勝ち取ったもの』と、知り合いにもらしていた」

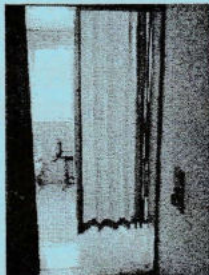
ご報告：修理等が 終わりました



南街公民館保育室を考える会からの要望書及び、コロナ感染拡大防止対策等によって、令和3年度に修理した施設等についてご報告します。

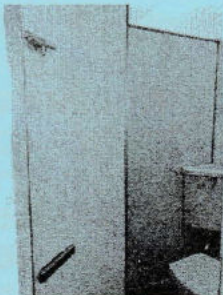
2階誰でもトイレ

使用中に小さいお子さんが間違っても開ボタンを押しても、目隠しとなるよう、扉内側にカーテンを付けました。



2階女子トイレ個室

使用中に小さいお子さんが鍵を触っても開かないよう、ドアの高い位置に鍵を追加しました。



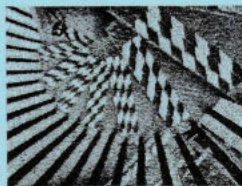
保育室トイレ

トイレットペーパーホルダーの位置が後寄りだったので、前寄りに変更しました。



非常階段

避難の際、小さいお子さん等が下りる時に滑らないよう、滑り止めを貼りました。



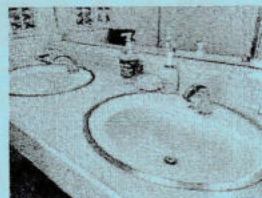
各学習室窓の網戸

今まで防音優先のため網戸の設置ができませんでしたが、コロナ感染拡大防止対策として設置が可能となり、全ての学習室の窓に網戸を取り付けました。



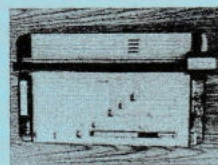
1階・2階トイレの自動水栓化

コロナ感染拡大防止対策として、全ての水道栓を自動水栓に付け替えました。



裁断カッター

安全度の高いものを準備しました。薄口用の紙を一度に10枚程度裁断することが出来ます。



印刷機の交換

契約更新により、新しい印刷機になりました。



【保育室開室 40 周年記念文集

原稿・編集委員を募集します】

原稿×切：5/31

体裁：A4（余白上 35mm、下・左・右余白 30mm、MS 明朝、40 文字×36 行）、タイトル・グループ名・利用時期・氏名(仮名可)を含め 1 枚以上、手書き原稿可

内容：公民館保育室を利用してお子さん・家族・自分の変化。公民館保育室に関する地域の皆さんへのメッセージ。これからの公民館保育室に対する期待。その他。

第 1 回編集委員会 6/2（木）午前 10 時～正午 於中央公民館（申込み 5/31 まで）

問合せ・原稿提出・申込：公民館 ☎可（東大和市HP>施設案内>公民館>メールフォームでのお問い合わせはこちら をクリックしてください）

【編集後記】

商栄会さんの七夕まつりと中元大売り出しは、子どもも大人も楽しみにしているので、伝統行事として続けていってほしいです。

また、今年は「商店街とアート」・野外劇団の「楽市楽座」が開催されるとのこと。地域活性化につながることを願っています。

これからもゴミ出しは、一人一人が分別のルールを守り、異物混入しないように気を付けていきましょう。ぜひ、エコプラザを見学してみてください。（目黒）